

議会だより



12月定例会

第482回定例会が、12月16・

17日の2日間開催されました。町長の提案理由説明に引き続き以下の案件

- ・ H22年度補正予算 6件
 - ・ 条例の制定 1件
 - ・ 条例の改正 4件
 - ・ 建設工事請負契約 2件
 - ・ 過疎地域自立促進計画の策定 1件
 - ・ 規約の変更 1件
 - ・ 陳情 1件
- が上程され、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。上程された主な内容は以下のとおりです。

■議案

- ・ H22年度一般会計補正予算 4、238万6千円を追加し、予算総額を41億3、927万5千円とする補正予算であり主な内容は、
- ▼人事院勧告による人件費調整 166万円余追加

- ▼菱浦地区共聴施設補助金 400万円追加
- ▼ひかりネット事業 2、350万円追加
- ▼生活保護システム開発 1、016万円余追加
- ▼子宮頸ガン等の予防接種事業 252万円余追加
- ▼死亡獣畜一時保管施設整備事業 450万円追加
- ▼CAS保管冷凍機修繕費 140万円余追加
- ▼水産物商品開発費等 585万円追加
- ▼東上口線改良工事 549万円余追加
- ▼諏訪港長寿命化計画策委託費 500万円追加
- ▼急傾斜崩壊対策事業負担金 514万円追加
- ▼町道木路線災害復旧事業 350万円追加
- ▼漁港関係ハード事業減額 2、750万円

- ・ H22年度国保事業勘定特別会計補正予算 1、765万2千円追加
- ・ H22年度国保診療施設勘定特別会計補正予算 511万6千円追加
- ・ H22年度簡易水道特別会計補正予算 29万1千円追加
- ・ H22年度下水道特別会計補正予算 614万9千円追加
- ・ H22年度後期高齢者医療特別会計補正予算 523万6千円減額

■条例の改定

- ・ 海士町中央図書館の設置及び管理に関する条例の制定

■条例の改正

- ・ 海士町環境施設整備基金条例の一部を改正する条例
- ・ 海士町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例
- ・ 海士町定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 隠岐開発総合センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

■工事請負契約

- 地域水産物供給基盤整備事業
- ・ 菱浦漁港岸壁改良工事
- ・ 請負契約の増額変更

- 1億1、655万円を1億25、023、500円

飯古建設(有)

- 港湾環境整備事業
- ・ 海士港先灘地区港湾環境整備工事

- ・ 請負契約の増額変更 92、400、000円を1億20、752、100円
- 飯古建設(有)

■報告

- ・ H21年度海士町財政援助団体監査報告及び、H22年度海士町定期監査報告が渡辺監査委員から報告された。

■陳情

- ・ 島根県保険医協会会長古沢正治氏

「医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める陳情」

採択

■陳情

- ・ 海士町過疎地域自立促進計画

■規約の変更

- ・ 隠岐広域連合規約の一部を変更

■決算認定

- ・ 総務厚生常任委員会
- 平成21年度海士町一般会計決算認定・平成21年度海士町国民健康保険事業勘定特別会計決算認定・平成21

- 年度海士町国民健康保険診療施設勘定特別会計決算認定・平成21年度海士町国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計決算認定・平成21年度海士町老人保健特別会計決算認定・平成21年度海士町後期高齢者医療特別会計決算認定について慎重審議の結果、決算審査意見書に係る意見等を踏まえ、場合によっては法的措置を講じるなど、一層の滞納徴収業務の強化を求め、認定とする。

産業建設常任委員会
平成21年度海士町一般会計決算認定・平成21年度海士町簡易水道特別会計決算認定・平成21年度海士町下水道特別会計決算について慎重に審議を行った結果、当委員会は監査委員の指摘事項を重視して、未集金回収に努められたことは認められるものの、更なる回収努力を要望して認定とする。

町政に問う 一般質問



波多紀昭 議員

人口減少・流出の抑止策は？

問 波多議員

今年国勢調査の年で県内各市町村の人口動態に関心が高まっている。本町では、前回同比の結果はどうであったか。海士町が最も懸念することは、このまま少子高齢化が加速し人口減少を招き、地域活力が低下することだ。そこで、地域資源を活用し、産業を振興し、雇用を増やし海士を活性化することが海士の将来にとって何より重要と考える。そのため、町内企業の経営力、販売力の強化、競争力のある農漁業の確立が不可欠。町長は、こうした観点から産業振興を重要な柱に位置づけ推進していることは承知

するが、10年、20年後の本町における適正な人口規模や産業構造をいかに展望し、それを支える人口をいかに定着させていくための具体的な施策をさらに打っていく時だと考える。人口増対策について、町長は今後のビジョンとプロセスをどう考えているのかマクロ的に問う。

答 町長

人口問題については、国を含め特に本町のような過疎地域では、いわゆる交付税イコール算定基準等になるので、歯止め策や増加対策が行政の最大の関心事であると同時に行政展開の基本だと認識している。

次に10月1日付けの国勢調査の詳細数字であるが、まだ順序を得て発表の段階ではないが、速報値では前回より20人のマイナスと聞いている。交付税でほぼ6、7千万円の減額が予想される。この数字の背景から平成16年策定の自立促進プランに基づく「守りと攻め」の行財政改革については着実に実践し、中でも人

口施策については行政運営の基軸として重点的に、しかも一点突破型の産業興しを進め一定の成果を上げての数字だと思う。前回平成17年の国調では、雇用面を含め集中的に人口問題と取り組んできた。

その後もUターン者の数は年々増えており、この5年間でUターン者は27人Uターン者は140名と増加し、全体として17名の純増だ。従って、人口動態をみると、今までくびれていた20代、40代の過去5年間経過した中で膨らんできたことがわかる。絶対数は増えていないが、いわゆる若い層というか就労人口が増え、人口バランスが改善されたことは、これまでの産業振興を始めた総合的な施策の結果だと判断している。今後も引き続き、産業、福祉、医療、介護、教育、住宅施策を含め定住のための総合的施策を戦略的に取り組んでいきたい。



松田修一 議員

薬の分包化の情報提供は？

問 松田議員

海士診療所の調剤投薬の情報提供について伺う。

高齢者の4人に一人が5種類以上の薬を服用しているとされており、一錠づつ密封されている薬を服用の都度取り出さなければならず、取り出しづらいという問題と、複数の薬を服用していると服用量・服用時期が異なり服用が煩雑になり、飲み忘れ・重複服用の可能性が非常に高い。

問題解決の選択肢の一つとしては、既に医師の判断により一部の患者さんを対象に実施されている一包化（一回の服用分を一回分としてまとめる）だが、現状の設備・人員ではハードルは高いと考えるが希望者を対象にこの様な方法があるという情報提供の必要性を感じるが今後の取組みについて伺う。

答 町長

きめ細かな住民サービスを旨としており、分包の多くは医師が必要と認めた者について行っている、分包機の増設や追加人員配置は、一朝一夕には解決できない、或いはスペースの問題等もあり、現時点では分包方法もあることを隠すつもりはないが、積極的に進める考えはない。

答 濱見診療所事務長

分包処方方は、内服患者数の約13%、沢山の薬を服用されている方が服用量や服用回数があるが、分包機の増設・スペースの確保・人材確保等の問題、また分包に係る消耗品代は、診療所の持ち出しで運営の面で厳しい状況にある。ただ、患者さん・ご家族の方からの相談については随時応じるが分包処方の情報提供を積極的に行っていくことは現時点では厳しいと考える。

ホームページの一元管理は！

問 松田議員

ホームページは本町の最新

情報発信の一つで、常に最新情報に更新されるべきと考え

いのでいま少し時間を頂きたい。

不足が目につく。よりタイムリーに情報発信するにはホー

は法体系の一部であること、その効力についてどのように理解され、条例等の現行化と遵守についてどのように考えているのか伺う。

ムページは有効な手段と考えるが、管理運営面において責任部署が明確でないために情報不足・更新の遅れが目立つ。

答 町長
例規集内の誤診等につきまして、細部にわたりご助言を賜り改めて感謝申し上げます。今回ご指摘いただいた内容は、細部についてのお答えは致しかねるが、大まかに指摘いただいたところについて、或いは今後の考え方についてお答えする。

町としてホームページの位置づけと足元の宝物を見落とし

問 花岡議員
海士町例規集の現行化と遵守について平成18年6月の定例会でも指摘したにもかかわらず、最新版である平成21年12月31日現在版でも記載事項に不備だと思われるものがある。「海士町消防委員会条例」

て、宝の持ち腐れにならないような適切な管理運営と共に有効な利活用が望まれるが町長の考えは？

「海士町行財政改善審議会条例」「海士町職員定数条例」「海士町社会教育委員会議規則」「海士町農業及び漁業協同組合学校生奨学金貸与条例」「海士町すこやか子育て支援に関する条例」「海士町課設置条例」「海士町交通安全対策会議査要綱」等私が調べた範囲では以上だが、早急に現行化し正しい業務の推進を図ってほしい。町長は例規集の条例等

答 町長

問 花岡議員

一昨年ホームページを開設して開設当初に、一元管理をする体制が取れず、各課に掲載情報の更新等を任せる形になり、各課の格差もあり情報の偏りや更新の少ない状態が続いたことは事実で、今後の問題として管理の一元化の必要性を感じている。今の海士町の動きを外に発信することは重要且つ貴重な媒体として

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」のチャイルドシート購入交付事業について

の一つのツールと考え、新年度に向けて光を含めた中で一元化あるいは体制を考えた

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」のチャイルドシート購入交付事業について

は重要且つ貴重な媒体として一つのツールと考え、新年度に向けて光を含めた中で一元化あるいは体制を考えた

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」のチャイルドシート購入交付事業について

は重要且つ貴重な媒体として一つのツールと考え、新年度に向けて光を含めた中で一元化あるいは体制を考えた

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」

「海士町すこやか子育て支援に関する条例」のチャイルドシート購入交付事業について



花岡美近 議員

海士町例規集の現行化と遵守について

答 町長

例規集内の誤診等につきまして、細部にわたりご助言を賜り改めて感謝申し上げます。今回ご指摘いただいた内容は、細部についてのお答えは致しかねるが、大まかに指摘いただいたところについて、或いは今後の考え方についてお答えする。

問 花岡議員

「海士町消防委員会条例」については廃止の方向で検討したいと思っている。「海士町行財政改善審議会条例」は、現時点で委員に任命しているものはない。必要な時期に最適な人材をもって構成することで効果的な運営がなされるものと考えている。「海士町職員定数条例」と規則の人数に誤差があるとのことだが、7月1日付けの改正で誤差はない。

は、既に条例改正を行っている。「海士町農業及び漁業協同組合学校生奨学金貸与条例」については継続する方向で条例改正をしたいと考えている。その他、文字の重複等誤診事項については、指摘のとおりで早急に修正する。条例の現行化と遵守について、各種法改正に伴い直接関係する条例はその都度改正しているところだが、法例番号の引用のみ行う場合等、法例に精通した専門職でなければ見落とすしてしまうようなケースもある。これを機に専門家に詳細調査を依頼することも含め改善策を検討する。

補正予算

○平成22年度一般会計歳入・歳出1億2,776万7千円を追加し、総額42億6,704万2千円とする補正予算

○平成22年度簡易水道特別会計歳入・歳出143万2千円を追加し、総額1億6,062万2千円とする補正予算

○平成22年度下水道特別会計歳入・歳出481万7千円を追加し、総額2億8,834万8千円とする補正予算

2月臨時会



第483回臨時会が2月17日に開催され、上程された平成22年度補正予算を原案通り可決した。

算

隠岐広域連合議会報告

波多 紀昭
寺下 雅人

2月7日に平成23年第1回定例議会が開催された。

冒頭議長の挨拶に続き、広域連合長の施策方針が述べられた。本年度策定した第2次広域計画に掲げた仁万の里の現地新築と運営主体の検討、消防庁舎の移転新築の検討を重点的に進める考えが示された。また、次期高速船の後継船は、ジェットフォイルを選定したが、隠岐広域連合が事業主体となり、本年度から本格的に導入準備を進めていく方針が示された。

介護保険は第5期の介護保険事業計画の策定年度にあたるが、10年を経過した介護保険制度の見直しが行われており、新に示される制度をもとに、住民のニーズや構成町村の方針を反映した事業計画を策定したい考えであった。

知的障がい者施設は、障害者自立支援法に基づく新たな事業体制に移行するため、従来の更正施設及び授産施設の名称が変更され、障がい者支援施設として事業の展開が図ら

当していることから、その実績を報告する。

■利用実績について

当初予定数は、1運航当たり(片道)6名(看護師2名、その他医療従事者1名、ビジネス利用者3名)だったが、実績は646名(看護師0、その他医療従事者0、ビジネス利用者523名、観光その他116名)となった。

■就航率について

過去3年(H19～H21)の波高データを基に就航率を71.31%と予想していた。実績は運航許可が4月末になり、5月から11月まで(24日)の運航で77.34%の就航率(331回/428回)となった。

■収支実績について

支出について、船舶運航委託料を4月～11月(24日)、1日2航海、欠航なしでの条件で予算を積算していたが、欠航の影響で実績委託料は1,707万3千円で、予算額と比べ620万2千円の減額となった。収入についても欠航の影響で、船舶利用料は15万2千円の減、町村負担金は600万1千円の減となった。

島前・島後間海上交通整備事業報告

当該事業は、医師、看護師不足にあえぐ隠岐の2病院を結ぶ海上ルートを確認し、病院間の連携を強化する狙いから、隠岐町村会が、島後・島前を直

行する旅客船の試験運航を昨年度実施した事業であるが、関係事務を広域連合事務局が担

諸般の報告

12月

第482回海士町議会定例会

例月現金出納検査

島前町村組合議会

隠岐島前高校魅力化の会

1月

平成23年海士町消防出初め式

隠岐病院建設促進特別委員会

例月現金出納検査

海士町人権同和教育講演会

2月

福井小社会科出前授業

海士小社会科学習事前打ち合わせ

隠岐広域連合議会全員協議会

海士小社会科出前授業

隠岐広域連合議会

消防自動車寄贈式

広報調査特別委員会

海士小・福井小子ども議会合同中間発表会

島根県後期高齢者医療広域連合議会

第483回海士町臨時会

例月現金出納検査

保く高連携教育推進協議会懇親会

海士町立春式

町村議会定期総会

隠岐島前町村議会議長会正副議長・事務局長会議

竹島の日記念行事

島前町村組合議会

第7回海士町子ども議会

【編集後記】

■あま光ネットの接続工事が進められていますが、これは行政サービスの充実・向上と、行政施策への住民の生の声を反映させるために、また、住みやすく安心して暮らせる海士づくりのために、原動力となるものです。ICT(情報通信技術)の有効活用が大いに期待されます。

■広報を手にする頃は、平成23年度当初予算の審議真っ直中、愛着の詰まった島の未来をどう描くのか。厳しい環境は承知している。しかし、挑戦をやめては発展はない。「家貧しくて、考子あらわれる」窮すれば変じ、変すれば通ず」という言葉がある。

■私たちの議会だよりもいよいよ最終コーナー。各位にご愛読いただき町政各般にわたって理解を求めてきました。今後も町民の皆さんの代弁者として町政の進展のため努力する所存です。

(2月18日 波多)



広報調査特別委員会

委員長 波多 紀昭

副委員長 松田 修一

委員 上田 正子

委員 柏原 廣行